

令和2年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和3年3月24日）

協議会議事要点録

会議名	令和3年度 第2回江田島市交流定住促進協議会			
日時	令和3年3月24日（水）13時30分～14時55分			
場所	江田島市役所4階会議室			
出席者	江田島市商工会会長	会長【議長】	ひらた けいじ 平田 圭司	○
	江田島市自治会連合会会長	副会長	こせき たかひろ 小跡 孝廣	○
	江田島市女性会連合会会長	監査	おかだ れいこ 岡田 鈴子	○
	江田島市商工会青年部		すずき まさたか 鈴木 雅貴	欠席
	江田島市社会福祉協議会事務局次長		かねだ ようじ 金田 洋二	○
	J A 呉江能営農センター長		しらもも まこと 白桃 誠	○
	市農業後継者クラブ会長		やまもと みつひこ 山本 満彦	欠席
	江田島市不動産連合会会長		こにし ひろき 小西 博基	欠席
	一般社団法人フウド代表理事		ごとう しゅん 後藤 峻	○
1 開会				
事務局	開会宣言			
2 会長あいさつ				
会長	平田会長あいさつ			
3 議題				
(1) 報告事項				
ア 江田島市交流定住促進事業について（資料No.1）				
イ 令和3年度江田島市当初予算について（資料No.2）				
議長	それでは、議題（1）報告事項に入ります。 ア「江田島市交流定住促進事業について」及びイ「令和3年度江田島市当初予算について」を事務局よりそれぞれ報告をお願いします。			
事務局	－資料No.1 及び資料No.2 により説明－			
議長	ただいま事務局から説明がありました。質疑はありますか。			
委員	空き家の購入補助について、もう少し詳しい説明をお願いします。			
事務局	はい。資料No.2 の 2 内容の表、移住・定住支援補助金についてです。 今年度までの制度では、居住用の自宅を新築、購入した場合には上限額 30 万円の補助をしています。これには、空き家の購入も補助対象に含んでいました。この補助制度とは別に都市整備課にも空き家活用補助金として、空き家購入の補助制度があり、2本立てとなっており、事務的、予算的にもダブリがあるため、			

令和2年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和3年3月24日）

	<p>今回要綱改正により1本化し、こちらの定住促進制度としては、空き家購入補助は対象にはなりません。都市整備課の補助制度において、住所要件を外し、市外の方が空き家を購入する場合にも補助するという整理をしました。</p>
事務局	<p>補足説明です。</p> <p>今年度までは購入者の現住所が市内か市外かで、空き家購入補助の窓口が都市整備課と企画振興課で違っていたので、変更後は、空き家購入に関して市内在住者でも市外在住者でも都市整備課に一本化するものです。企画振興課の方は、移住者の方が新築物件を購入される場合に補助対象とするというもので、対象者が減るといった話ではありません。</p>
議長	<p>ただいま事務局から説明がありました。質疑はありますか。</p>
委員	<p>企画振興課と都市整備課の空き家購入補助は補助率が違っていたと思いますが、こちらはどのような整理をされたのですか。</p>
事務局	<p>こちらの定住促進補助では、補助率が3%で上限額が30万円だったものを都市整備課の空き家購入補助に1本化し、現行の補助率30%で上限額30万円となっています。補助率は、現行の空き家購入補助の補助率のままです。</p>
委員	<p>こういう補助制度があるということを不動産業者に説明はしているのでしょうか。</p>
事務局	<p>不動産業者には説明をしております。不動産業者からの問合せがこちらにあるということもあります。ただし市の不動産連合会登録事業者は周知しているが、市HPには制度を掲載していますが、市外の業者の場合、HPを見ていなければ知らない可能性があります。</p>
議長	<p>賃貸物件は、補助対象にはならないのでしょうか。</p>
事務局	<p>賃貸物件については、別制度で補助対象となっています。</p> <p>参考資料の江田島移住のはじめ方の1ページ目に記載してあります定住促進子育て世帯家賃補助金制度があります。江田島市に定住することを目的とした補助金制度で、江田島市外から転入した子育て世帯の方へ民間賃貸住宅の家賃の費用の一部を補助します。ここでいう子育て世帯は、15歳までの子どもがいる世帯又は夫婦いずれかが40歳未満の世帯です。</p> <p>上限は月額で1万円まで補助します。</p>
議長	<p>市内の方が新築した場合には、どうなるのでしょうか。</p>
事務局	<p>市民の方向けの補助金制度というのは、こちらでは用意していません。</p> <p>空き家活用補助の中で、住宅改修などの補助制度はあるので、用件に該当すれば対象になりますが、新築に関してはないです。</p>
委員	<p>中古物件を買う場合と新築の場合と担当課が違うということでしょうか。</p>
事務局	<p>今年度までは、空き家購入の場合に市外からの移住者であれば、窓口が企画振興課、市民であれば都市整備課と窓口が2つに分かれていて、とても分かりづかったので、令和3年度からは、空き家購入については、市外からの移住者、市民どちらも都市整備課を窓口にするという整理をしました。</p>

令和2年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和3年3月24日）

	移住者が新築する場合には、今まで通り企画振興課が窓口になります。
委員	空き家購入については、1つにただけであって、改修であるとか新築については、別ということですね。市役所の中の組織上の問題であって、一般市民から見たら、何で1つの窓口にならんのかなと思う。今すぐこれを改正したほうがいいとは言えないけれども、将来的には1つの窓口にすることが大事ではないかなと思います。窓口が1つになることによって、移住者による申請が伸びてくる可能性もあると思います。将来的な課題として言わせていただきます。
事務局	確かに申請する側にとって、窓口があちこち変わるのも面倒だと思うので、今回については、空き家購入の窓口は都市整備課に1本化したのですが、幅広い意味で住宅施策で1本化にしないかということはやっていこうと思います。
委員	市民だけでなく移住しようと思っている人も窓口がいくつにもわたるのをすごく嫌うし、面倒だから移住をやめるということにつながりかねないので、行政上の難しさはあるけれども、1つの窓口で申請から完結まで終わるような組織の在り方が今後は必要ではないでしょうか。 特に最近では、江田島市がテレビなどで報道されることが多く、県内でも浸透してきています。そういうところでありながら、手続きが面倒というのは矛盾するので、長期的な視野で、一つの窓口でできないかということはこの会議の中で提案させていただきたいと思います。
議長	各課に移住相談窓口というのはないのでしょうか。相談窓口が一元的にあれば利便性の向上や負担の軽減につながると思います。
事務局	組織的な整理をしようとする時間がかかりますが、例えば、移住希望者がどこの窓口に行っても申請が受付られますという共通化からやってみようと思います。 御意見ありがとうございます。
議長	ほかに質疑はございますか。 ないようですので、議案審議に移ります。
(2) 議案	
ア 江田島市交流定住促進協議会運営要綱の一部改正について（資料No.3-1, 3-2）	
議長	続きまして、議案ア「江田島市交流定住促進協議会運営要綱の一部改正について」を議題といたします。 事務局から説明をお願いします。
事務局	—資料No.3-2により説明—
議長	ただいま事務局から説明がありました。質疑はございますか。
各委員	(質疑なし)
議長	お諮りします。 議案ア「江田島市交流定住促進協議会運営要綱の一部改正について」に賛成される方は、挙手をお願いします。
各委員	(委員 挙手)

令和2年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和3年3月24日）

議長	賛成多数です。 よって、議案ア「江田島市交流定住促進協議会運営要綱の一部改正について」は、可決されました。
イ 令和2年度江田島市交流定住促進協議会事業報告及び決算見込みについて（資料No.4-1, 4-2）	
議長	続いて、議案イ「令和2年度江田島市交流定住促進協議会事業報告及び決算見込みについて」を議題とします。 事務局から説明をお願いします。
事務局	－資料No.4-1, 4-2により説明－
議長	ただいま、事務局から説明がありましたが、これについて質疑はございますか。
各委員	（質疑なし）
議長	お諮りします。 議案イ「令和2年度江田島市交流定住促進協議会事業報告及び決算見込み」に賛成の方は、挙手をお願いします。
各委員	（委員 挙手）
議長	賛成多数です。 よって、議案イ「江田島市交流定住促進協議会事業報告及び決算見込み」は、可決されました。
ウ 令和3年度江田島市交流定住促進協議会事業計画（案）及び収支予算（案）について（資料No.5-1, 5-2）	
議長	続きまして、議案ウ「令和3年度江田島市交流定住促進協議会事業計画（案）及び収支予算（案）について」事務局から説明をお願いします。
事務局	－資料No.5-1, 5-2により説明－
議長	ただいま、事務局から説明がありましたが、これについて質疑はございますか。
委員	フウドとはどういう意味ですか。
委員	フウドの運営を任されているのと、名付けが私なので御説明します。 地域おこし協力隊時代に名付けました。今「フウド」とカタカナ表記ですが、風、海、土の漢字からフウドと付けました。意味は、風は外から来る人、土は島に住んでいる人、海は江田島を象徴する瀬戸内海を指していて、外の人が海を渡って島にすんでいる人々と交流することにより、新しいことや地域活性化につながるという思いを込めて、フウドという名前にしています。
委員	大変よく分かりました。
議長	気候風土とかけているのですか。
委員	そうですね、元々の発想は風土です。私自身この島の風土に愛着があって、この島の気候風土を尊重しながら、フウド事業を進めていけたらいいなと考えています。

令和2年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和3年3月24日）

議 長	ほかにございますか。
各 委 員	（質疑なし）
議 長	お諮りします。 議案ウ「令和3年度江田島市交流定住促進協議会事業計画（案）及び収支予算（案）について」に賛成の方は、挙手をお願いします。
各 委 員	（委員 挙手）
議 長	賛成多数です。 よって、議案ウ「令和3年度江田島市交流定住促進協議会事業計画（案）及び収支予算（案）」は、可決されました。 以上で、本日予定されていた議案の審議は全て終わりました。
意見交換	
議 長	<p>ここで、私から一つ委員の皆様へ御提案があります。</p> <p>先日行われた市議会の予算審査特別委員会において、本市の人口減少が進む中、本協議会の役割が重要であると御意見をいただいております。</p> <p>そこで、各委員さんから所属されている団体で取り組まれている移住・定住に関する施策、また、移住・定住に対する御意見などありましたら、この場で意見交換させていただきたいと思っております。</p> <p>突然なことで大変恐縮ですが、私が提案させていただきましたので、まず、私の方から、少しお話をさせていただこうと思っております。</p> <p>商工会の取組についてですが、毎年10月に創業塾を1か月間開催しています。市外からの受講者も多数来られており、非常に盛況で5年以上継続しています。この方々の起業までの取組を含め起業されてからも継続的に伴走型支援をしています。この取組は、今日の参考資料の「江田島移住のはじめ方」でも取り上げていただいております、がんばりすと応援事業補助金制度で、起業支援について市から補助金をいただいております。また、新商品の開発についても取組を行っており、こちらについても補助金をいただいております。若手の事業者がもっと元気を出していけるような支援を市と連携して継続的に取組しています。着実に雇用も生まれ、市外からの移住促進を図れると思っております。毎年新規創業の方もいますし、非常にやる気のある方がたくさんいらっしゃるの、コロナ収束後は新しい事業を展開していただければと思っております。</p> <p>私は観光協会の会長も兼ねさせていただいておりますので、観光協会の立場から言わせていただきますと、来月4月から江田島市観光協会は一社化を図りまして、もっと観光行政を前進したいと思っております。</p> <p>なぜ一社化するかといいますと、一社化すると我々で観光商品の提供をすることができるようになります。定住ではなく交流の方で、江田島市を訪れて観光していただく際に、体験メニューを提案し、料金をいただくまでを一元的に観光協会できないか、という取組です。</p> <p>市内にまたホテルもオープンしますし、宿泊された方のアクティビティの申込みをホテルで行い、ホテルから観光協会へ依頼をしてもらい、参加者にこういう依頼をしましたというコネクトをつなげてプラットフォーム化したいと思っております。</p> <p>4月以降、観光が前進しているなど市民の皆様へ御理解いただけるような取組を行っていきたくと思っております。</p>

令和2年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和3年3月24日）

	<p>新たに理事を選任する中で、時代にマッチした新しい考えを取り入れるということで、本日出席している後藤さんも含め、より多角的な多様化する観光ニーズに対応できるような方々をお願いをして、流れを作っていこうと考えています。</p> <p>また、東京江田島ファンクラブの総会に毎年出席させていただきますが、非常に熱い思いの方がたくさんお集まりになっています。ですが、東京はやはり少し遠く、目の前に広島市という大都市があるので、ぜひ広島江田島ファンクラブを作ってください、我々市民とイベントなどを含め交流の場を持てるような、今既に交流事業は始まっているようですが、顔を合わせる交流会などを企画していただければと思います。</p> <p>それでは、団体として何か取組があればお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>社会福祉協議会です。社会福祉協議会も色々な事業を行っていますが、私が関わる事業では、無料職業紹介所と福祉介護の人材不足の対策事業でこの会に選出されていると思っています。この一年特に大きな事業はなかったのですが、コロナの貸付事業で国のお金を融資しています。特に宣伝はしていなかったのですが、今年100件余りを貸し付けました。いわゆるコロナで仕事がない、給料が半分になった、生活保護になりそうとかそういった相談を100余り受けまして、2500万円ほど貸付を行っています。話を聞いていると、今の仕事では生計が立てられないから転職したい、江田島市内では職がないから広島市や呉市へ移り住もうかという話になります。仕事がないがゆえに転出する、ということになります。入ってくる人もですが、出ていく人を止めるのも大事だと思います。そこで貢献させていただかないといけないと思っています。</p> <p>月に5、6人平均で就職、就労相談を行っています。今、非常に厳しい状況です。加えて生活困窮事業も職員3人を配置して、履歴書作成をしたりなど就労支援を行っています。仕事がないがゆえに転出していく側面があります。市から補助金をいただいて運営しておりますが、足りなく300万円持ち出してやっておりますので、財政的にご配慮いただけたらと思います。</p> <p>この地域における役割はどんどん増大していると思っています。住む所も大切ですが、働くところもマッチング事業もおそろかにしてはいけないと思っています。一昨日もシニアのUターン者が来まして、福祉介護の仕事の面接が決まり、住むところは亡くなった母の実家の空き家に住み、夫婦で移住が決まりました。住むところ、仕事は両輪かと思っています。ですので、働くところの推進事業についても、来年度予算化をお願いします。</p> <p>4年間関わらせていただきましたが、今月末一身上の都合で退職します。後任に優秀な職員をこちらの会へ参加させていただきますので、よろしくをお願いします。4年間でしたが、ありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>さっき観光の方でもお話が出ましたが、先月江田島市がすごくテレビに出ましたよね、観光の場合には住所を表示してもらえれば、ナビで行くこともできるので表示してもらえればと思います。また、フウドの場所も説明するのが難しく、沖美市民センターを調べて行ってもらえれば、近くにありますがと説明しています。</p> <p>企画振興課を通して、テレビの企画があるのであれば、住所の表示と最寄りの</p>

令和2年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和3年3月24日）

	<p>港，バスの案内までテロップがあると行きやすいと思います。江田島市は広島市の人にとって，手頃な観光場所と言われるので，もう少し行きやすくした方がいいと思います。</p>
委員	<p>江田島市民そのものがフードに対する認識が薄いような気がします。これだけテレビに出ているので，もっとフードを表に出して広報したらどうですか。フードの活動というのは，江田島市の移住・定住の活動の中でも大きなウェイトを占めていると思いますので，もっとフードそのものを表に出すような形で広報するともっと良くなるのではないかと思います。</p> <p>沖地区の住民の方は，過疎に対してものすごく前向きに取り組まれていて，いろんなイベントをされたりしていますね。しかし，大柿町や江田島町の方はあまりないように感じるんです。沖美町でやっている活動を大柿町や江田島町でもやっていただきたいと要望をして，江田島市全体でアピールしようという方向性が必要じゃないでしょうか。沖美町でいろいろと取組をしているというのは，良く分かっているんですが，それは地元の間人だけが分かっているだけで，もっと市全体で盛り上げていくというのが，少ないような気がします。</p>
委員	<p>おっしゃる通り，私自身沖美町のフードを拠点に試行錯誤しながら活動してきて，やはり市民の方にまだまだ広がりきってないという御指摘をいただくので，できるだけ伝わるような広報の出し方を工夫しているところです。具体的には，広報えたじまに毎月フードの活動のことを載せるように，企画振興課と一緒に記事を作成しています。そういった形で少しでも市民の皆さんに伝わるような工夫を頑張らせていこうと思っています。</p> <p>場所について，あそこ場所でしょうと思った理由については，江田島市に移住して来ようと思う人にとって，島の風景，ロケーションが移住するならこういう景色のある所と言われる人が多かったので，最初のアイコン，フラッグシップとしてあそこが適切だと思い，始めました。とはいえ，沖美町のあの場所だけで続けていくにも，広い江田島市の中で市全体に広げていくには，もしかしたら他の拠点というのがあった方がいいというのは同感です。では，どうやったらいいのかというのは知恵を絞らないといけないと思いますし，私だけでできることではないので，皆さんのお知恵とお力を合わせながらやっていけたらいいなと思います。</p>
議長	<p>団体の取組状況を続けてお願いします。</p>
委員	<p>今，非常に良い流れが来ていると感じています。普段，移住の窓口をやっている中でもそうですし，企業誘致のお手伝いをする中で，バレットグループさんを始めオーシャンポイントさん，江田島荘さん，あと20代前半の若いプログラミング会社の方6人が江田島市に移ってくる事が決定しています。他にも現在進行形で江田島市にオフィス誘致を検討されている企業がぞくぞくといらっしゃいます。併せて，観光も観光協会さんが法人化するという動きがあるので，非常に良い流れが来っていて，この流れをうまくキャッチするには，皆さんで同じ方向を向いて協力していくというのが大事だなと感じております。</p> <p>移住交流拠点フードとしての今後の活動について，大きく2つ考えています。</p>

令和2年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和3年3月24日）

	<p>1つは、空き家バンクです。こちらは問合せが本当に増えていて、紹介できる物件が足りない状況です。対応する私たちの人員も増やさないといけない状態です。とにかく登録物件の数を増やしたいと考えています。登録物件数を増やすにはどうしたらいいかというのは、自治会などと情報共有をしながらやった方がいいのかな、など色々考えていますので、御協力をお願いしたいと思います。その点に関して、4月から専属の方も来られるということなので、ご紹介いただけたらと思います。</p>
事務局	<p>4月1日から空き家の掘り起こし専門の地域おこし協力隊が、企画振興課に1名配属されます。その方の活動として、いろんなところを巡って、相談させていただこうと思っています。地域の空き家を紹介いただけますか、といったことなど、また相談に行った際には御協力をお願いします。</p>
委員	<p>もう1つの取組は、今コロナの関係でお試し暮らしの制度を休止しているということですが、そんな中でも相談に来られる方が、おためし暮らしは使えないのですかという声を結構聞くので、私共の方で小さい空き家を最近取得しまして、そこを独自でおためし暮らしに使えるような形に今後していこうというのと、江田島市内に現在泊まれるところというのは結構ありますので、そういった所と連携して、おためし暮らしを民間ベースでもできるのかな、と模索しています。江田島市に興味を持たれている方がいらっしゃったら、紹介していただくという形で皆さんのお力をいただければ幸いです。</p>
委員	<p>庄原とか世羅の方で、若い人たちが古い農家を1軒借りて住むというのが流行ったんですが、あちらは冬が寒いので、どこか暖かいところないですか、と言うので、江田島は暖かいし、雪は降らないし、船ですぐに広島市内に行けるし、ということで意見交流したことがあります。今、若い人達が田舎の家を借り切つてというのが流行っているんですよ。江田島市は世羅や三次と比べれば、船や車で広島市に近いというのがメリットなんです。そこをセールスすれば、江田島市にも若い人たちが起業家として、もう少し増えるのではないかなと思いますので、フウドを有効活用してもらえればと思います。</p>
議長	<p>農協としての取組はいかがですか。</p>
委員	<p>農協としての取組は、移住に関してはほとんどないですけども、生産者団体さんを通しての取組といえば、「移住のはじめ方」の最後のページにある取組については、江田島市の農林水産課さんと取組をさせてもらっています。</p> <p>こちらへ移住できて農業で食べていきたいという相談が年に何件かありますが、正直1年目から農業で食べていくのは無理です。本気でやられる方には、こういった研修制度を利用して、本気で1年農家に修行に行つて、技術を身に付けていただいて、研修の間に農地を見つけて就農していただくというやり方でないと、移住してきてからすぐ来月から農業やって食べていきたい、というのではまず無理です。そういったところをまず皆さんに知っていただきたい。この研修制度もかなり厳しくて、副収入があつてはだめ、副業はだめというものなので、自分の生活費を持ってこないといけないし、自分で畑を耕すこともできないので、国の事業で非常に難しいところがあります。</p>

令和2年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和3年3月24日）

議長	畑を借りてはいけないのですか。
委員	<p>本人名義で畑を借りてもいけないし、作ってもいけないです。この制度は10年前からやっていて、キュウリがメインですけど、卒業生8人は独立して、定住して就農していただいたという実績はあります。農林水産課さんも来年度も続けるということですが、まだ応募がないです。随時募集はしているそうです。今は花の農家で去年の4月から研修されている方が1人います。沖美町に定住して、花農家に修行に行っています。</p> <p>農地もなかなか貸し借りが島では動かないです。ぽっと移住してきた人に貸すという人は、ほとんどいないと思います。そこは説明を求められた時には答えていきたいと思えますし、農林水産課の持つ農地バンクについても、本気で農業をやっている認定農業者でないと開示できないらしく、一般の方には開示できないらしいので、農地を手に入れるのも難しい状況です。研修生として入って、農地を探すという道筋が一番早いと思います。</p> <p>テレビ等で憧れというのものもあるかもしれませんが、移住してきて農業で食べていきたいです、何をしたらいいのですか、と簡単に言われる方が多いですが、丁重にお断りしています。</p>
議長	よくテレビで移住して家庭菜園をされている方とかの事例がありますよね。家庭菜園レベルであれば全然問題はないんですよね。
委員	家庭菜園レベルであれば全然問題はありません。ちょっとリタイヤして年金暮らしで、小遣い稼ぎでっていうのであれば相談に来ていただければ、相談に乗ります。子ども2人抱えて500万円くらい欲しいと言われる人には、簡単にはいかないのです。
議長	結構問合せはあるんですか。
委員	最近減りましたが、年に3、4件はあります。コロナになって1、2件ありました。
議長	やはり田舎暮らし、イコール農業というイメージがあるんですね。
委員	なかなか物を作ろうと思うと、簡単にはできないです。
議長	<p>漁協者の研修にしても、非常に大変ということを漁協からも聞いています。プロとして生業をするというのは非常に難しい、年金暮らしでたまに釣り道具持って行くのとは全く違う、ということですね。</p> <p>皆さん、御意見ありがとうございました。</p> <p>何かこれだけは言っておきたいということがありましたら、どうぞ。</p>
委員	日新製鉄さんが事業撤退されて、関連企業を含め2,000人、江田島市の方で通いで7、80人いらっしゃるということで、2月に呉のハローワークで説明会を開催されたんですが、ほとんど江田島市外の就職斡旋です。家族も連れて市外へ出て行こうかという声を聞いたので、これはいけないと思い、交流観光課さんを通じて商工会さんに御協力いただいて、社協と商工会と連名で製造業、鉄鋼業、建設業へ照会、発信をしたところ、14企業が雇えるということで回答をいただきました。広報えたじまや市のホームページなど、足元にも働き先があるという

令和2年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和3年3月24日）

	<p>ことを発信して、7, 80人が仕事を求めて出て行ってしまいうので、流出を防がないといけないです。そういう取組もやっています。</p>
議長	<p>社協さんはいつも無料職業紹介などをやっていただいて感謝しております。日新製鉄に関しては、我々商工会においても特別相談窓口を設けて、事業者の方には事業継続についても相談していただいています。</p> <p>市内経済的には慢性的に人手不足で、募集をかけてもなかなか人が来ないという状況です。社協の無料職業紹介所やハローワークに求人を出してもなかなか電話が鳴らないという状況です。オーシャンポイントさんも水産加工業で大量に雇用を考えているということなので、日新製鉄さんの方も含めて、江田島市に仕事がありますよ、ということを含体的にアナウンスするのが大事ではないかと思えます。時間が急いでいますからね、終わりがあるお話ですから、非常にありがたいことだと思います。</p>
議長	<p>私からもう1点いいですか。先ほどの資料No.2のところでは令和3年1月末に移住・定住ポータルサイトを開設とありましたが、この取組をもう少し詳しく教えてください。</p>
事務局	<p>はい。「ほどほど」のサイトですが、1月末に移住・定住のポータルサイトとして開設しました。今までは移住希望者の方が江田島市の情報を知るには市のホームページしかなく、移住した方がどんな暮らしぶりをしているかなどを知ることができませんでした。また、移住の際に島だから医療機関があるのか、学校はどんな状況なのかといった情報が市のホームページでは分かりづらかったので、暮らし、住まい、仕事というカテゴリ分けで表示し、仕事であれば、広島市・呉市は通勤圏内であるとか、商工会の創業塾を受講して起業が可能であるとか、実際に起業した方のインタビューを載せたりして、人物にフォーカスして移住したらどういった暮らしぶりが島でできるかということ写真を写真と文章で分かりやすく公開しています。</p> <p>空き家バンクについても、物件の絞込検索ができなかったものを町別、金額別で絞込検索できるような機能を付けました。物件を見て内覧したいと思ったら、同じサイト内から住所、氏名、メールアドレスを登録していただいて、内覧日程をメールでやりとりしていただく形になっています。</p> <p>移住相談についても、住所、氏名、江田島市に移住したい理由などを登録フォームで入力していただいて、企画振興課とフウドへメールが届くようになっています。これにより、移住希望者や移住検討者を把握することができるので、こういった方に対して、逆にこちらから定住フェアやフウドイベントの案内をPRしていく手段として使えます。このサイトを活用して、新年度からは移住・定住促進を図りたいと考えています。</p>
委員	<p>今までは市役所ホームページで割とあっさりとした見え方だったんですが、こういうポップな感じで、見る人も見応えがある、見たくなるようなデザインになっていて、移住者の方のインタビューが載っていたり、しごと、暮らし、住まいとカテゴリごとに情報が調べられるようになっています。</p>
議長	<p>移住先を探すのに、まずはネット検索をされる方が多いですね。ある程度固め</p>

令和2年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和3年3月24日）

	<p>た中で相談したり、電話したりですね、入口の整備は非常に重要です。</p>
委員	<p>私たちも自分でネット検索して、関心があったら電話して聞いてみようか、と何でもネットで調べられますからね。</p>
議長	<p>入口の雰囲気は、玄関先と一緒になので、他市町もやっているところなので、玄関先の雰囲気が良かったら、入ってきていただきやすいですね。そういう整備は非常に大事だと思います。どうやって関心がある方により多く検索していただけるかということが非常に重要じゃないかと思います。他市町の取組も含めて、専門的なアドバイスが聞けたり、もっと江田島市に注目していただけるような取組を続けていただければと思います。非常に良いことだと思います。</p>
委員	<p>1月末のリリースで、2月、3月は毎月の2倍くらいの間合せ、対応です。</p>
議長	<p>コロナで東京に住みにくいという気持ちを持っていらっしゃる方がいると思うので、自然豊かでコロナ感染者もあんまり出ないし、子育て環境も良い、というところで、ピンチをチャンスに変えた取組をしていただければと思います。</p> <p>今日の皆さんの御意見をお伺いした中で、この取組が市民に伝わりにくいというところがあって、人口減少に対して江田島市の取組はどうなのか、という声を聞いたりしますので、こういった形で各団体が力を合わせて、人口減少に対して取組を行っています、という表現が市民向けには非常に必要ではないかと思います。フウドの話もありましたけど、こういった定住促進や人口減少に対する取組を皆さんが協力してやっているということを議会の皆さんにも、市民の皆さんにもお伝えして、江田島市は一生懸命やっているんだと御理解をいただく作業が非常に大事だと思います。</p>
委員	<p>先ほど空き家バンクの話がありましたが、市の担当者だけで空き家を探すのは大変だろうと思います。自治会では毎年各町ごとの連合会が4月の初めに総会をやります。市内31の自治会全てが加入している連合会の場合に行って、各課の要望事項などを会議の冒頭で話をされてはどうですか。社協の方は会議のたびに来られて、社協の取組を説明されるので、単位自治会の方は社協の業務についてかなり詳しいです。そういう意味からすると、今の空き家バンクについても、地域の自治会から情報をもろうという方法をとられてはどうですか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。地域のどこに空き家があって、誰が持っているというのは、自治会の方が一番ご存じだと思います。空き家の掘り起こしについて、お力添えいただかなければいけないと思っていましたので、そういった御意見をしっかり受け止めて、また御相談させてください。</p>
議長	<p>登録までに足が向かなかつたりするところを少し背中を押していただければ非常にありがたいですね。</p>
委員	<p>空き家バンクに登録するには、完璧な家でないとだめだと思っている方がいるので、入る方がリフォームすることもできますというような情報を与えてあげれば違うと思います。仏壇があるから貸せませんということも多いです。いい案があれば、どんどん登録が増えると思います。</p>
議長	<p>長時間にわたり、貴重な御意見ありがとうございました。</p>

令和2年度 第2回江田島市交流定住促進協議会（令和3年3月24日）

	事務局におかれましては、本日の各委員の皆様のお意見をできる限り反映し、より効果的な事業がなされるようお願いいたします。
4 閉 会	
議 長	<p>本日の協議会会議は、これで閉会します。</p> <p>最後に事務局から連絡事項があれば、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>本日はありがとうございました。</p> <p>会長に御無理を言って、委員の皆様から御意見をいただいたのですが、気づきがたくさんありました。いただいた御意見をすぐにやっけていくように努めたいと思います。</p> <p>移住・定住については、すぐできることもありますし、息の長い取組が必要なところもありますので、皆さんのそれぞれのお立場で御協力をお願いすることもありますので、引き続きお願いいたします。</p> <p>事務局からは以上です。</p> <p>本日は御多用の中、協議会に御出席していただき、誠にありがとうございました。</p>